学校番号	３２３

令和８年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	(学)音楽演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「The Basics of Music 2 訂版」　(教育芸術社)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・楽譜が身近なものになるよう、楽譜に記されている事柄について学習します。
・楽譜を読み取る力や音楽を聴取する力といった的確に音楽表現する技能を身につけることで、多角的な視点を持ち様々な音楽との接点を増やし、日常生活をより豊かに、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てます。
・学習の到達度は、授業中の発言や取り組みの姿勢、筆記および実技テスト、テキストやワークシートの提出で評価します。

2　学習の到達目標

音楽理論・ソルフェージュに関する学習を通して音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽に関する資質・能力を育成する。
【知識及び技能】音楽に関する基礎的な理論を理解するとともに、理解したことを視唱、聴音を通して的確に表現する技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】理論を表現に活用し、音楽を形作っている要素の働きやその効果等に関する思考力、判断力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・音楽に関する基礎的な理論を理解している。 ・視唱・聴音といった活動を通して的確に表現する技能を身につける。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、様々な知識や技能を関連させどのように表すかについて独自の表現意図を深めたり、音楽を評価しながら良さや美しさを深く味わっている。	主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	聴いてみよう読んでみよう	P.12 ソルフェージュより ・リズムやメロディーの聴取 ・音符を読む練習 P.45 Linear Line	a:表現上の効果を生かした演奏をするために必要な技能を身につけている。 b:音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽の良さや美しさを味わっている。 c:主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取	ワークシート 観察
	楽譜について	・音名 ・音符と休符 ・拍子 ・音程	a:基本的な音楽に関する知識を理解し、的確な演奏に必要な技能を身につけている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、その重要性について考察している。 c:主体的・協働的に授業に取り組んでいる。	考査	考査	ワークシート 観察
2学期	互いに聴き合い演奏しよう	P.14 ソルフェージュより ・リズム打ちとメロディー歌唱 ・互いに聴き合いリズム打ち ・互いに聴き合い歌う P.46 Clap-Pat-Tap	a:表現上の効果を生かした演奏をするために必要な技能を身につけている。 b:音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽の良さや美しさを味わっている。 c:主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取	ワークシート 観察
	楽譜について	・音階 ・和音 ・コードネーム	a:正確な読譜についての知識をベースに音階・和音について理解を深め、的確な演奏に必要な技能を身につけている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、その重要性について考察することでより深く音楽を表現している。 c:主体的・協働的に授業に取り組んでいる。	考査	考査	ワークシート

3学期	伴奏を作ろう	P44 コードネームをもとに伴奏を工夫しよう 自作の伴奏でミニコンサートを行う。	a:これまで習得してきた知識を応用し、表現上の効果を生かした演奏をするために必要な技能を身につけている。 b: 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、個性豊かに創作表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 作品 観察	演奏の聴取 作品 観察	ワークシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度